

第6回 WICI シンポジウム

AGCグループを支える 統合的思考とその取り組み

2013年 11月22日

旭硝子株式会社
常務執行役員 経営全般補佐(財務担当)

藤野 隆

1. 事業概要

時代の最先端産業および成長市場へ積極的に投資・進出

(2012年12月期)

AGCグループ (売上高:1兆1,900億円 営業利益:929億円)

ガラス
売上高:5,646億円 (47%)

板ガラス
売上高:3,077億円



自動車用ガラス
売上高:2,569億円



電子
売上高:3,441億円 (29%)

ディスプレイ
売上高:2,894億円



電子部材
売上高:547億円



化学品
売上高:2,573億円 (21%)

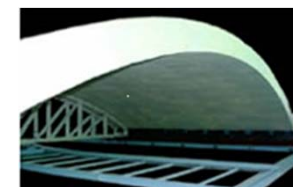
フッ素・スペシャリティ
売上高:938億円



クロールアルカリ・ウレタン
売上高:1,755億円



セラミックス・その他
売上高:870億円 (3%)



2. 世界市場でのポジション

グローバル一体経営を推進し、世界市場で上位を獲得

※2012年末当社推定

板ガラス

No.1	当社 AGCグループ	} 65%
No.1	サンゴバン + セントラル硝子	
No.1	日本板硝子グループ	
No.4	ガーディアン	
:		

*中国を除く

自動車用ガラス

No.1	当社 AGCグループ	} 65%
No.1	サンゴバン + セントラル硝子	
No.1	日本板硝子グループ	
:		

TFT液晶用ガラス基板

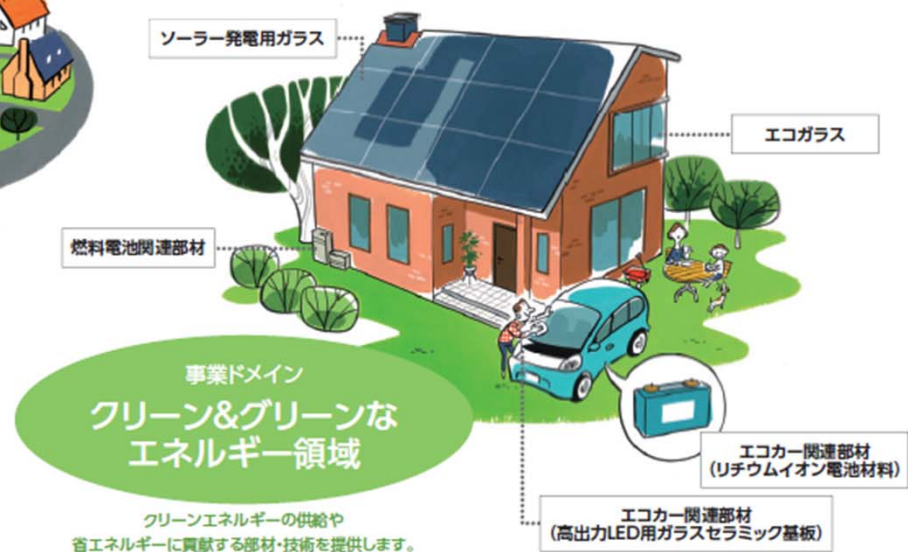
No.1	コーニング
No.2	当社 AGCグループ
No.3	日本電気硝子
:	

PDP用ガラス基板

No.1	当社 AGCグループ
No.2	日本電気硝子

3. 新事業ドメイン

縦割型からAGCグループの総合力を最大化するドメインへ統合



4. ESGへの対応例

「環境・エネルギー問題への対応」と「事業収益性」を両立

経営方針 *Grow Beyond*

2020年の
ありたい姿

AGCグループは、『持続可能な社会に貢献している企業』として、

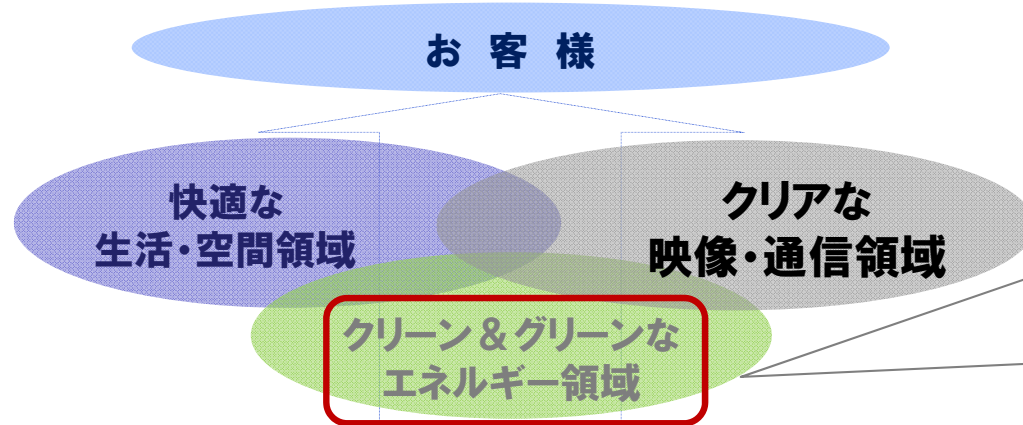
- 差別化された強い技術力を持ち、
- 製品のみならず、生産工程・事業活動全般に亘って環境に配慮し、
- 新興地域の発展にも寄与する、

高収益・高成長のグローバル優良企業でありたい。

3つの戦略

- ✓ 第2のグローバルゼーション
- ✓ 環境・エネルギー問題に技術力で貢献
- ✓ ガラス技術立社

事業ドメイン



ガラス・化学・セラミックス技術

事業活動の
バックボーン

- ✓ 人は力なり
- ✓ 安全なくして生産なし

5. コミュニケーションツール

独自の“統合報告書”をマルチステークホルダーへ発信



5. コミュニケーションツール

投資家の皆様へ「ESGハイライト」をホームページから発信

AGC 旭硝子

グローバルサイト | English | 中文 | お問い合わせ/資料請求

ホーム | ニュースリリース | 製品情報 | 研究・開発 | **CSR** | 株主・投資家情報 | 採用情報 | 会社情報

ホーム > CSR

CSR (企業の社会的責任)

AGCグループは、「より良い地球・社会の実現」に貢献し、社会全体から信頼され、成長・発展を期待される企業となることを目指します。

トップメッセージ | AGCグループのCSR | **ESGハイライト (408KB)**

株主・投資家情報

IRカレンダー | 最新決算短信 | 説明会資料 | トップメッセージ (CSRへ)

お知らせ・IRニュース | RSS配信登録 | RSSご利用について

AGC

プロフィール

AGCグループは、ガラス、電子、化学品、セラミックスなどの事業をグローバルに展開している。世界市場でのポジション^①は、板ガラス^②、自動車用ガラス、PDP用ガラス基板で世界第1位、TFT液晶用ガラス基板で世界第2位である。^③[DJSI World Index](#)および[Ethisal PIONEER & EXCELLENCE Investment Register](#)に選定されている。

注1: 2012年末当座推定 注2: 中国を除く

持続可能性を取り込んだ成長戦略

「2020年のありたい姿」において、「持続可能な社会に貢献している企業」として、売上高2兆円以上を達成し、「新製品」「環境関連」「新興市場」の売上高比率がそれぞれ30%以上あり収益力も高い、「高収益・高成長のグローバル優良企業」になることを目指している。この実現に向け、3つの戦略「ガラス技術立社」「環境・エネルギー問題に技術力で貢献」「第2のグローバル化」を推進している。また、新中期経営計画「*Grow Beyond 2015*」のもと、財務目標をROE12%以上、D/Eレシオ0.5以下とし、成長性と財務健全性の両立を目指している。

ESGハイライト

■環境負荷の低減と環境関連事業の拡大による成長

「環境」を経営の最重要課題の一つと位置付け、グローバルに運用する統合環境マネジメントシステムのもと、環境に配慮した事業活動を進めている。2015年に「クリーン&グリーンなエネルギー」領域における新製品売上高を1.5倍(2012年比)、環境関連売上高比率を19%にすることを目標としている。また、事業成長と事業活動にともなう環境負荷低減を同時に達成するため、経済的寄与と環境負荷の両面を考慮した独自の「AGC環境指標」を設定している。グループ全体のリサイクル率(2012年度)は96.2%で、製造拠点の40%がゼロエミッション^④を達成した。

注3: 廃棄物のうち99%以上リサイクルすることをゼロエミッションと定義

■ダイバーシティ(多様性)の推進

多様性を競争力の源泉と位置付け、国籍およびジェンダーにおける人材の多様化を推進している。全従業員のうち非日本人比率が75%、執行役員のうち非日本人が1名である。2010年より全グループ従業員を対象に専門分野別人材データベース「スキルマップ」を導入し、グローバルな人材マネジメント体制を構築している。またAGC旭硝子において新卒採用(専門職)の目標女性比率を20%に定め、2011年度より継続達成している。役員者に占める女性の割合は4.8%(2011年度4.4%)。2013年3月、女性活躍推進をテーマとした東京証券取引所17社の1社として選定された。

■独立性の高い社外取締役による経営監視機能の強化

2002年より社外取締役を選任している。取締役会には7名中3名がAGC旭硝子および有価証券上場規定の独立性の基準を満たす独立性の高い社外取締役から構成される。2003年より指名委員会と報酬委員会を設置し、各委員会において4名中3名が社外取締役である。また、社外取締役が十分な情報に基づき実効性のある監督ができるよう十分な支援体制を構築している。報酬については、多様で優秀な人材の確保・株主と経営陣の利益の共有を基本方針とする。

ESGハイライト

旭硝子株式会社
東証1部(5201)

2013年5月31日



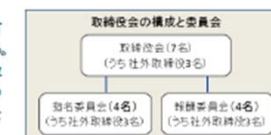
売上高比率 (2015年見通しおよび2020年目標)



グリーン&グリーンなエネルギー領域開拓 新製品売上高



なでこ銘柄: 女性活躍推進とSDGの両面から評価された東証一部上場企業17社が選定



“Look Beyond”

私たちの使命——先を見据え、よりブライトな世界を創ります。

ご清聴ありがとうございました。